

3.25 三里塚現地集会へ！

日刊 動労千葉

79.3.24

No. 69

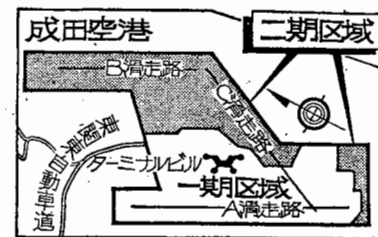
国鉄動力車労働組合
千葉地方本部

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五八〇九(公衆電話)22七二〇七

二期工事粉砕・廃港へ！ ジェット燃料貨車輸送実力阻止！ 革マル反動分子の千葉破壊策動うちくたぎ、労農連帯の正義を貫きま

森山運輸相「二期工事着工」を宣言！

いまだ半分以上が見通しのないまま今年で「事業認定期限」が切れる。しかも、今度は17戸も敷地内農民が根を下ろす。



森山運輸相は、閣議において、三里塚空港二期工事の年内着工を表明し、さらに同日、千葉県当局は、この政府の動きと相呼応して、空港公団が申請していたジェット燃料パイプライン工事に必要な花見川河川敷や道路などの使用を許可した。

農民殺しの攻撃を許すな！

しかし、横風用滑走路をはじめとする二期工事区域には、一七戸の反対同盟農民が昨年5・20開港による騒音地獄の中で、様々な攻撃をはねのけて闘っている。

すなわち、この一七戸の農家を先頭とする反対同盟農民は、政府・空港公団の農民無視、抹殺の暴力的な空港建設とベテラン的な農業政策に対して、一四年間一貫して、土地を守り、農業を営むことをもって生活し、ねばり強く闘っているのだ。

今、「二期工事年内着工」をさげふ森山運輸相こそは、一七戸の反対同盟農民の生活の基盤である家屋と土地を問答無用に暴力的に奪い去り、文字通り農民を虫けらのごとく抹殺しようとするものである。

このことは、一四年にわたる三里塚闘争の中でもかかってない暴挙であり、最大の攻撃である。

ねこそぎで総決起しよう！

われわれは、こうした政府・空港公団の暴挙を絶対に許すことは出来ない。こうした緊迫した情勢の中で、3・25現地集会在極めて重要な闘いとして開催されようとしている。

3.25 行動方針

成田運転区前10時30分集合(青年部は9時30分) ↓ 11時出発 ↓ 正午三里塚空港 全支部根こそぎ総決起で、千葉地本の正義と団結力をさし示そう。

「反対同盟は変質した」「一線を画す」「貨物(ジェット燃料)安定輸送宣言」をもって政府の帝国主義的空港政策に積極的協力、加担するのかもしれない。それとも、労農連帯の一層の強化をもって、三里塚・ジェット闘争を貫徹するののか。

われわれは、2・10臨大をもってきっぱりと後者の道を自ら選び、激動の八〇年代を闘う動労運動の再構築に向けて全力で闘うことを宣言したのである。

そして、われわれは、3・19、20千葉地本破壊「オルグ」に対して、全支部・全組合員の総決起をもって完全勝利をかちとった。

敷地内17戸の農民は、全てもぎかけて闘う！



(天神峯) 石橋政次さん

一期工事のときは、闘争拠点が六ヶ所しかなかった。今度は、一七戸の農民が生活して闘っている。

3・25で、三里塚をうめつくさなければいけない。政府を二月事業認定切れというどたん場に追い込む。



(木の根) 小川源さん

政府のやり方は、いつもそこに生活している者の意見を全く無視して強行手段に訴えてやってくる。政府は、年内着工といっても、何んの具体策もない。ところが、こっちは、敷地内がかたく団結している。3・25では、全国から結集して、二期工事の着工を阻止しよう。